

ITビジネスモデル委員会報告 2015年度 その3

株式会社 東芝社会インフラシステム社 様
「東芝科学未来館見学」と
「横浜スマートシティプロジェクト評価結果」

講師 ソリューション推進室 参事 島岡 厚一様

2015. 9. 2(水) 川崎東芝ビルにて

プレゼン内容のポイントと質疑

1. 今回は

東芝未来科学館の見学と、東芝 社会インフラシステム部の
島岡厚一様から「横浜スマートシティプロジェクト」の実証実験の
結果についてお話を戴いた

「横浜スマートシティプロジェクト(YSCP)」

- －プロジェクトの概要と実施行程
- －開発、実証成果
- －東芝HEMS、スマートBEMS、アグリゲーションシステム
- －実証から実装に向けた取り組み
- －エネルギーソリューションセンター横浜

2. 東芝科学未来館の見学

創立の歴史、ランプ・洗濯機・扇風機・ラジオなど、発明品や1号機の展示品の
説明、からくり人形、万年時計から、磁気浮上の実演まで、幅広く見学、説明を
戴いた。

続き(プレゼン内容のポイントと質疑)

3. 横浜スマートシティプロジェクトの評価結果について

- ・経産省公募事業で、2010/4～2015/3 の期間で、34社16プロジェクトの規模で行った次世代エネルギー・社会システムの実証事業として行われたもの。
- ・東芝としては、地域・ビル・家庭の各管理システムと蓄電池に関する実証実験に参加
- ・現在、それらの成果をどう活かしていくかを検討中

— 質問:蓄電池がまだ高く、劣化もあるので元が取れない可能性がある

A:蓄電池に関しては今後安くなる可能性がある

— 質問:エリアを考えたとき、自家発電と電力会社からの供給と、どちらが最も効率的か

A:まだそこまでの評価が出来ていない

— 質問:全体としての話は理解できたが、どこで儲けるのかがよくわからない

A:協議会は自治体がまとめたが、以降はメーカーが主体となって進めているので、それぞれの得意分野での特徴を出してビジネスとして確率していく

感想

- 未来科学館見学とセミナーについて

専任の説明員の方にアテンドいただき、分かり易く説明いただいたため、非常に理解が深まりました。

東芝の輝かしい歴史に触れることができ、また年代に沿って懐かしい白物家電の実物を拝見することができ、個人的にも楽しい時間を過ごすことができました。

横浜スマートシティプロジェクトについて

プロジェクトの全体像が良く分かりました。

プレゼン終了後のディスカッションでも皆さん言われていましたが、ビジネス的にどこで儲けるのか、難しい題材です。個人的には、国なり企業なり、資金力をもった人が強いイニシアティブを発揮し牽引しないと、なかなか効果は目に見えてこないのかと思います。企業としてはまず社会的責任を果たすという観点で、それなりの投資をしていく必要があると思われる。

- 横浜スマートシティプロジェクト(Post-YSCP)についてお話を伺いました。

目標値であるCo2削減量25%を達成し、すでに実証実験段階から実装実験に移行しているとの事で大変驚きました。

HEMS/BEMS/CEMSによる創蓄省エネ技術だけでなく、需要家に節電を依頼してコントロールすることで電力会社からインセンティブを得るというインセンティブ型デマンドレスポンスという取り組みについては非常に興味深かったです。

感想

スマートシティ化の実現には様々な企業や自治体などの相互協力が必要なため、実証・実装実験からビジネスへどのように展開していくのかが課題であるとのお話しでしたので、どのように世の中に波及していくのか今後も引き続き注視していきたいと思います。

- 横浜スマートシティプロジェクトで進めている需要のピーク抑制、地域エネルギーの安定化の実証と実装の取り組みの説明を受けた。当初の導入目標であるPV発電やEVの設置など目標達成ができています。一方、プロジェクトに参加する組織(Player)が多いが、それぞれの思惑によって個別最適にならないのかという疑問も出てくる。地域全体でダイレクトに発電、消費電力をコントロールし最適マネジメントにはまだ時間がかかると思う。一番の関心であるマネタイズは、これから新しい仕組みができマーケットが育っていかないと見えてこないと感じた。今は環境エネルギー事業として個別最適の提案しかできていないが、今回のような将来に向けた取り組みに接することで新しいビジネスのヒントを見つけていきたいと思う。

- 東芝未来科学館見学について

東芝の歴史、一号機物語、フューチャーゾーンと盛りだくさんかつ、楽しい内容がありました。とくに、からくり人形、懐かしい家電は印象的でした。また、静電気の体験もさせてもらい、この内容で無料というのはすばらしい運営だとおもいました。

- 横浜スマートシティプロジェクトについて

個人的には、HEMSでの実証実験に参加してもよいくらい、発電、逐電、売電と興味ある部分でありました。質疑応答では、この分野でのビジネスチャンスは？というような話もありましたが、ライフスタイルが変化し、価値観も変わり、その中で新たに必要なものも出てきて、そこにITを駆使したサービス、ソリューションも生まれてくるかと思えます。

プレイヤーもITだけでなく新たな領域の会社が参入し、コラボレーションも複数になって行き、ビジネスモデルも1対1だけでなく、“風が吹けば桶屋が儲かる”的な形になるのかとおもいます。

“太陽が出れば当社が儲かる” というようなことになればと。

- 今回2度目の「東芝未来科学館」の見学でしたが、東芝の歴史を時系列で見ることができ、とても有意義な見学となりました。この時代にこんな家電が既に出来上がっているとか、数々の未来の技術を散見し驚きの連続でした。YSCP(横浜スマートシティプロジェクト)のプレゼンは、前回のものよりブラッシュアップされ、BEMSやHEMSのような地域の未来の形を実に合理的にスマートな形で表現され、とても興味深く拝聴しました。これからこのような職場や住居になることを想像するとワクワクします。また我々のビジネスがこれらにどのように関わっていくかを考えさせられる瞬間でもありました。

□東芝未来館での見学に徐々に胸が躍りました。

お二人の創業者の新しい物を作り出す思いや技術の高さが今の技術の東芝のエンジンとなっており、また家電製品は非常に懐かしく自分が生まれ生活した時代に帰ることができました。

また、最新の技術にも触れ、日本を代表する製造業の力強さを感じることができました。

スマートシティPJも大変興味深く拝聴しました。

新しい都市空間を効率よく、また人々が楽しめる生活基盤を創るのは、夢でもあり、また既得権益や既存基盤を打破しなくてはならず、並大抵ではない難しさを感じました。PJにより技術の獲得や海外市場への展開は期待できますが、事業ベースに乗せることが何より難しいと認識しましたが、是非邁進して欲しいです。

大変、勉強になる1日でした。

□東芝未来科学館では①創業者の部屋②1号機物語③サイエンスゾーンを中心に見学。セミナーはINS社より「横浜スマートシティプロジェクト」について講演頂いた。大都市地域での需要ピーク抑制・地域エネルギー安定化を目的に5年間(2010年4月から15年3月)で得た大規模実証の成果を公民連携により他地域でのエネルギーマネジメントに展開が予定されている。但し実証の成果をビジネスにつなげるにはまだハードルが高くビッグデータを活用したビジネスの難しさ(官民協業他)がうかがえた。

編集後記

今回は東芝川崎の、東芝未来科学館の見学と、横浜市で行われた横浜スマートシティープロジェクト(YSCP)の実証実験の結果をお聞きし、今後のビジネスへのヒントを模索する企画として委員会を開催しました。質問にもありましたが、このスマートシティ構想を如何にビジネスに繋げていくのかが、我々にとっても興味のあるところです。今後、地域の中心となるエネルギーソリューションセンター横浜の事業化に向けてITの関わる所には積極的に参加していく必要があるかも知れません。

下記URLから今回のプレゼン内容がダウンロード出来ます(会員限定)

<https://www.jcssa.or.jp/memberJCSSA/dl2.php>